

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月10日 (2011.11.10)

【公開番号】特開2010-82288(P2010-82288A)

【公開日】平成22年4月15日 (2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-255827(P2008-255827)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月26日 (2011.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼内レンズを設置する設置位置と該設置位置よりも前方に形成される待機位置とを有した載置部と、該載置部に結合され前記載置部に設置された前記眼内レンズを先端から送出するための筒状の挿入部とを有するレンズ保持部と、  
該レンズ保持部が先端に設けられた筒構造の挿入器具本体と、  
前記レンズ保持部から眼内レンズを押し出すために前記挿入器具本体の筒内で軸方向に進退移動可能に設けられた押出棒を持つ押出部材と、  
を備える眼内レンズ挿入器具であって、  
前記挿入器具本体は、

内部に固定的に形成され前記押出部材の軸ずれを防止するための軸出部であって、前記押出棒の径と略一致する内筒を持ち前記眼内レンズを押し出す前記押出部材の移動工程において前記押出棒と嵌合し前記押出棒の軸出しを行うための軸出部を有し、  
前記押出棒は、

前記押出部材の移動工程において前記眼内レンズが前記設置位置から待機位置に移動した際に前記眼内レンズの変位によって前記押出棒が前記軸出部よりも前側位置にて湾曲し軸がずれることを抑制するために、前記待機位置におかれる眼内レンズと前記レンズ保持部の内壁との接触により発生する摩擦力に勝って、前記眼内レンズの変位及び前記湾曲状態を修正させる復元力を有するための材料及び径にて形成されている  
ことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 2】

請求項 1 の眼内レンズ挿入器具において、前記挿入器具本体及び前記押出部材は、前記眼内レンズの待機位置を使用者に知覚させるために、前記押出部材の移動工程において前記眼内レンズが待機位置に到るか又は到る直前に互いに嵌め合う凹部及び凸部をそれぞれ備えることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の眼内レンズ挿入器具において、前記レンズ保持部は、待機位置におかれる前記眼内レンズに当接する前記ヘッド部の軸出位置を視認するためのマークを有することを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 眼内レンズを設置する設置位置と該設置位置よりも前方に形成される待機位置とを有した載置部と、該載置部に結合され前記載置部に設置された前記眼内レンズを先端から送出するための筒状の挿入部とを有するレンズ保持部と、該レンズ保持部が先端に設けられた筒構造の挿入器具本体と、前記レンズ保持部から眼内レンズを押し出すために前記挿入器具本体の筒内で軸方向に進退移動可能に設けられた押出棒を持つ押出部材と、を備える眼内レンズ挿入器具であって、前記挿入器具本体は、内部に固定的に形成され前記押出部材の軸ずれを防止するための軸出部であって、前記押出棒の径と略一致する内筒を持ち前記眼内レンズを押し出す前記押出部材の移動工程において前記押出棒と嵌合し前記押出棒の軸出しを行うための軸出部を有し、前記押出棒は、前記押出部材の移動工程において前記眼内レンズが前記設置位置から待機位置に移動した際に前記眼内レンズの変位によって前記押出棒が前記軸出部よりも前側位置にて湾曲し軸がずれることを抑制するために、前記待機位置におかれる眼内レンズと前記レンズ保持部の内壁との接触により発生する摩擦力に勝って、前記眼内レンズの変位及び前記湾曲状態を修正させる復元力を有するための材料及び径にて形成されていることを特徴とする。

(2) (1)の眼内レンズ挿入器具において、前記挿入器具本体及び前記押出部材は、前記眼内レンズの待機位置を使用者に知覚させるために、前記押出部材の移動工程において前記眼内レンズが待機位置に到るか又は到る直前に互いに嵌め合う凹部及び凸部をそれぞれ備えることを特徴とする。

(3) (1)又は(2)の眼内レンズ挿入器具において、前記レンズ保持部は、待機位置におかれる前記眼内レンズに当接する前記ヘッド部の軸出位置を視認するためのマークを有することを特徴とする。